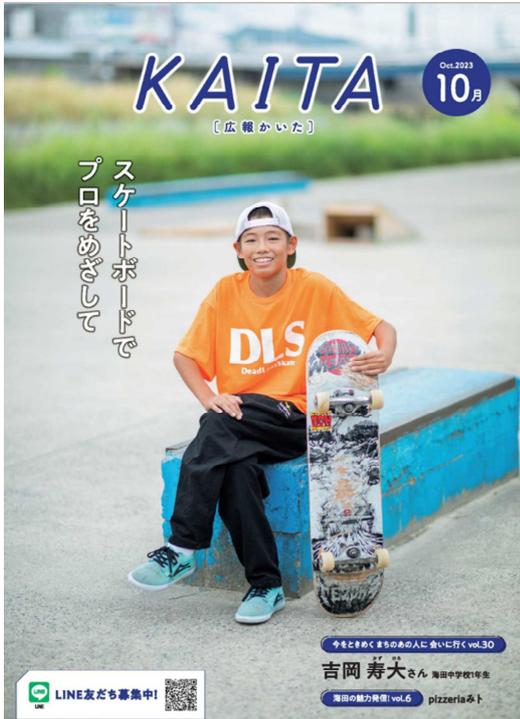


広報紙部門・町部

最優秀賞

海田町『広報かいた』(令和5年10月号)



■発行部数(年間発行回数): 14,000部(12回)

■担当課: 企画課

■連絡先: 082-823-9212

【担当者より(主な記事の掲載意図)】

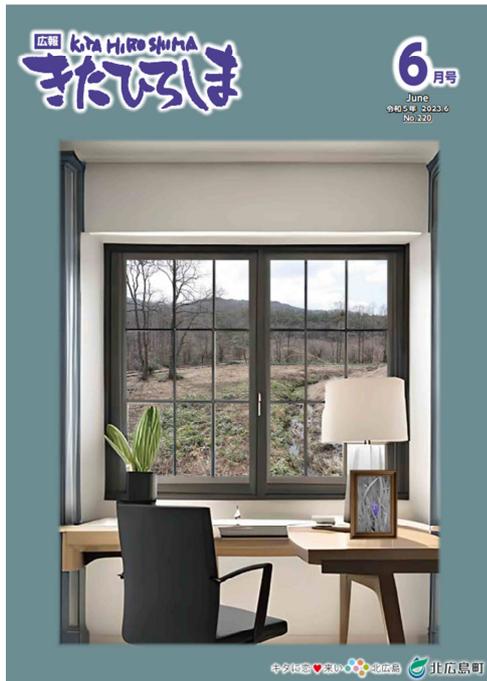
メイン特集である「今をときめくまちのあの人に会いに行く」では、町で輝く人の魅力や町への思いを引き出し、町の魅力を発信することで、町民の皆さんにこれからもここで暮らしたいと思ってもらうために様々な方に取材を行った。今年度からの新連載となった「今月の注目のTOPICS!!」では、その月で大切な情報を視覚的に伝えるために、デザイン性のある誌面とし、毎月固定で情報発信を行なった。

＝講評＝

- 海田町の「人」にスポットをあてた特集。読みやすい分量で、ていねいにインタビューされている。
- 地元で頑張る人の巻頭特集や町民に注目してもらうためのコーナーの企画等、発信するという役割はうまく果たしていると思う。
- 読みにくくなく、分かりやすく伝えようとまとめてあると思う。
- 丁寧でわかりやすい表現がなされている。とても読みやすい。
- 全体を通して、左右の端に見出しが付けられていたり、色で企画が分けられていたり読みやすい工夫がなされている。

優秀賞

北広島町 『広報きたひろしま』 (令和5年10月号)



- 発行部数 (年間発行回数) : 8,000部 (12回)
- 担当課 : 総務課
- 連絡先 : 0826-72-7357

【担当者より (主な記事の掲載意図)】

日本植物分類学の基礎を築いた牧野富太郎博士と北広島町八幡のつながりを町内外問わず多くの人に知ってもらおうきっかけになればと思い掲載しました。ドラマの影響もあって今では知らない人が少なくらいの人物ですが、八幡の住民のみなさんは長く牧野博士とのつながりを大切に、「カキツバタ」の保全に取り組まれています。その活動の一部を知ってもらい、カキツバタの花が咲く時期に開催されるお祭りに多くの人が足を運んでもらえるように。そんな思いでレトロな紙面をイメージして作成しました。

＝講評＝

- 特集のところはきちんと書かれてあり、ちょっとした裏話エピソードに、作り手の想い、楽しむ気持ちが見えてよい。
- フォントデザインも含めて、町民に伝わりやすく、わかりやすいようにまとめられている。
- 白黒だが、文字の大きさやイラスト、レイアウトがうまく配置され、違和感なく見ることができた。
- 中面は二色づかいですが、ポイントポイントでのカラー (赤) づかいが読みやすく、文字の大きさや空白の取り方など、レイアウトも的確です。フルカラーでなくても読みやすく、見本となるようなレイアウト。